

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 01公害対策費

事務事業番号 04010101

事業名		環境基本計画推進事業		担当部署	環境衛生部 環境保全課		
根拠法令		苫小牧市環境基本条例					
令和3年度決算額		240	千円	項目評価		総合評価 A	
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債		千円				
	その他		千円				
	一般財源	240	千円				
事業費（総計）		3,762	千円				
決算額		240	千円				
人件費		3,522	千円				
事業の目的		苫小牧市環境基本条例に基づく「環境基本計画」を推進するため、市民、事業者、民間団体の三者で構成する「環境基本計画推進会議」を設置し、様々な事業を通じて市民の意識啓発を図ります。					
事業の内容		1 環境基本計画推進会議を年3回開催し、計画の推進に関する事業の企画と実施、取組項目の進捗状況の点検を行いました。 2 環境保全に対する市民への意識啓発として、4事業を実施しました。					
SDGs17の目標							
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度
		環境基本計画推進会議実施事業		回	4	4	5
項目評価		高→低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				事業の実施により、環境保全に対する意識の醸成が図られていることから、「4」としました。	
効率性		●				新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした事業もあったが、代替事業を実施したため、「4」としました。	
公平性			●			事業によっては先着順としたが、様々な媒体により市民周知を行うことができたことから「3」としました。	
将来性		●				ゼロカーボンシティの実現に向け、様々な事業を継続して実施していく必要があることから、「4」としました。	
総合評価		A		項目評価のとおりおおむね目的に適った事業を展開できていますが、今後もより多くの市民に興味を持ってもらえるような事業を企画していく必要があります。			
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 01公害対策費

事務事業番号 04010102

事業名		公害測定機器整備事業		担当部署	環境衛生部 環境保全課		
根拠法令		環境基本法、騒音規制法、苫小牧市公害防止条例					
令和3年度決算額		1,074	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金		千円	総合評価			
	地方債		千円				
	その他	860	千円				
	一般財源	214	千円				
事業費（総計）		1,778	千円			A	
決算額		1,074	千円				
人件費		704	千円				
事業の目的		公害を未然に防ぎ、市民の健康と安全な生活環境の確保を目的とした各種環境測定機器を整備する事業です。令和3年度は、近年全国的に問題となっている低周波騒音苦情に対応するための機器整備を行いました。					
事業の内容		北海道エアポート株式会社事業を活用し、精密騒音計のほか、低周波音を分析するための各種ソフトウェアなどを導入しました。					
SDGs17の目標							
		精密騒音計		低周波音分析用ソフトウェア		データ収録メモリー	
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度
		公害苦情相談件数（低周波音に関連するもの）		件	4	3	0
項目評価		高→低				評価の理由	
		4	3	2	1		
有効性		●				低周波音の測定及び分析ができる体制を確実に整えたことから、「4」としました。	
効率性		●				補助金を活用して、低周波音測定及びデータ解析に必要な機器等をすべてそろえることができたことから、「4」としました。	
公平性		●				市民から低周波音に関する公害苦情相談が寄せられた際に、いつでも対応可能としたことから、「4」としました。	
将来性			●			低周波音に係る苦情は、今後も見込まれると考えられることから、「3」としました。	
総合評価		A				市民の健康と安全な生活環境の確保に必要な環境測定機器を整備することができました。今後も各種環境測定体制の維持及び充実に必要な機器整備を、計画的に進めていくことが必要と考えています。	
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 01公害対策費

事務事業番号 04010103

事業名		住宅用新・省エネルギーシステム補助事業		担当部署	環境衛生部 環境保全課	
根拠法令		苫小牧市環境基本条例				
令和3年度決算額	7,000	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金		千円			
	地方債		千円			
	その他		千円			
	一般財源	7,000	千円			
事業費（総計）	9,113	千円				
決算額	7,000	千円				
人件費	2,113	千円				
事業の目的	地球温暖化防止に向けた環境負荷の少ないまちづくりに寄与することを目的とし、住宅用新・省エネルギーシステムを設置する市民に対し、補助金を交付することにより、対象システムの普及促進を図ります。					
事業の内容	<p>1 補助対象システム及び補助内容 補助事業要綱に定める要件（設備要件、対象者など）により、対象システムの購入設置に要する費用の1/10（千円未満の端数切捨て）を助成。機種ごとに補助上限額あり。 ○太陽光発電システム 新築・既存 上限120,000円 ○CO2冷媒ヒートポンプ給湯器（エコキュート） 既存：上限45,000円 ○潜熱回収型ガス給湯暖房機（エコジョーズ） 既存：上限35,000円 ○潜熱回収型石油給湯暖房機（エコフィール） 既存：上限25,000円 ○ホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS） 新築・既存 上限20,000円 下限10,000円 ○定置用リチウムイオン蓄電池 新築・既存 上限120,000円 ○ガスエンジンコージェネレーション（コレモ） 新築・既存 上限50,000円 ○ビークルツーホーム（V2H） 新築・既存 上限50,000円</p> <p>2 令和3年度実績 ○太陽光発電システム 新築：16件 既存：0件 ○エコキュート 既存：31件 ○エコジョーズ 既存：22件 ○エコフィール 既存：32件 ○HEMS 新築：4件 既存：1件 ○定置用リチウムイオン蓄電池 新築：17件 既存：4件 ○ガスエンジンコージェネレーション（コレモ）新築：5件 既存：1件 ○ビークルツーホーム（V2H）新築：0件 既存：0件</p> <p style="text-align: right;">合計133件</p>					
SDGs17の目標						
実施結果（活動指標）	指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度
	補助金交付件数		件	133	175	159
項目評価	高→低		評価の理由			
	4	3	2	1		
有効性	●				ゼロカーボンシティの実現に向け、新・省エネルギーシステムの導入推進は必要であるため「4」としました。	
効率性	●				社会情勢や市民ニーズの変化に対応した、事業を実施していることから、「4」としました。	
公平性	●				補助金交付は先着順ですが、希望者への補助が予算内であったことから「4」としました。	
将来性	●				ゼロカーボンシティの取組の一つであり、ゼロカーボンの実現に向けて継続して実施していく必要があることから、「4」としました。	
総合評価	A		項目評価のとおりおおむね目的に適った事業を展開できていますが、ゼロカーボンシティの実現に向け、市民ニーズに合う新たな補助メニューの検討や内容の拡充をしていきたいと考えています。			
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 01公害対策費

事務事業番号 04010104

事業名		環境保全啓発事業		担当部署	環境衛生部 環境保全課	
根拠法令		苫小牧市環境基本条例				
令和3年度決算額		800	千円	項目評価		総合評価 A
財源内訳	国道支出金		千円			
	地方債		千円			
	その他		千円			
	一般財源	800	千円			
事業費（総計）		1,504	千円			
決算額		800	千円			
人件費		704	千円			
事業の目的		市民や事業者に対し、地球温暖化をはじめとする環境問題への関心・理解を深め、行動してもらうための様々な啓発活動を民間事業者の発想を活かして効率的かつ効果的に行うことを目的とします。				
事業の内容 SDGs17の目標		<ol style="list-style-type: none"> Instagram運用 <ul style="list-style-type: none"> 主に若年層をターゲットに、週1回以上イラストを使用した環境に関する投稿を行い、啓発につなげました。 エコドライブコンテスト <ul style="list-style-type: none"> 車載器とスマートフォンアプリを使い、マイカーでエコドライブに取り組み評価点上位3名を表彰しました。 省エネコンテスト <ul style="list-style-type: none"> 個人のエコな取組をSNSに投稿し「いいね！」数や、自宅の電気使用量の削減量を競い、成績上位者を表彰しました。 エコライフ啓発事業 <ul style="list-style-type: none"> 市民や児童の木材に対する親しみや木の文化への理解を深めるため、「木育ひろば」を開催しました。 風呂敷を活用したエコに関するショートムービーを5本制作し、Instagramにて投稿し啓発につなげました。 				
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度
		Instagramフォロワー数	人	1,222	886	-
		エコドライブコンテスト応募数	-	43人	24組	-
		省エネコンテスト参加者数	人	18	25	-
		エコライフ啓発事業（木育ひろば参加者数）	人	151	-	-
		エコライフ啓発事業（ふろしき講座動画再生回数）	回	672	-	-
項目評価		高→低 4 3 2 1	評価の理由			
有効性		●	本事業での経験を通じて環境問題への意識向上につながることから、「4」としました。			
効率性		●	公共サービス民間提案制度の利用により、SNSを活用したことで若年層の意識向上が期待できると考え、「3」としました。			
公平性		●	各事業、実施時にSNSや情報誌、広報とまこまいに掲載することで、一定の周知を行うことができたことから、「3」としました。			
将来性		●	ゼロカーボンシティの実現に向け、SNS等を活用した若～中年層への啓発の必要性が増していることから、「4」としました。			
総合評価		A	項目評価のとおりおおむね目的に合った事業を展開できていますが、ゼロカーボンシティの実現に向けては、市民の意識変革や行動変容を図ることから、特に次代を担う若年層の参加人数を増やすための工夫が必要と考えています。			
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 02自然環境保護費

事務事業番号 04010201

事業名		アライグマ捕獲事業		担当部署	環境衛生部 環境生活課				
根拠法令									
令和3年度決算額		6,801	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源	6,801	千円						
事業費（総計）		7,258	千円						
決算額		6,801	千円						
人件費		457	千円	総合評価	B				
事業の目的									
特定外来生物であるアライグマを駆除することで、在来生物の生態系等の保全を行うとともに、家庭菜園や農産物の被害を低減します。									
事業の内容									
SDGs17の目標									
1 委託による捕獲 前年までの事業で蓄積したデータを参考に、小川の周辺など捕獲効率の高い地点や農地・市街地等に侵入してくる経路等にワナを設置し、アライグマの捕獲を行いました。									
2 ワナの貸出しによる捕獲 家庭菜園や農産物等の被害があった市内の住民及び企業からの要請に基づき、ワナを貸出し、アライグマの捕獲を行いました。									
実施結果（活動指標）									
		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度		
		捕獲頭数（委託）		頭	169	151	135		
		ワナかけ延べ日数（委託）		わな日	5,780	5,736	4,853		
		捕獲頭数（ワナ貸出）		頭	194	160	92		
項目評価									
		高→低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性			●					本事業を継続的に行うことにより、アライグマの生息域の山林内及び家庭菜園や農産物等の被害に対する、一定数のアライグマの捕獲を行うことができていますことから、「3」としました。	
効率性			●						ワナかけ日数と捕獲頭数を比較し、一定の効果が得られていることから、「3」としました。
公平性			●						
将来性		●				在来生物の生態系等の保全を行うため、今後も継続して事業を行っていく必要があることから、「4」としました。			
総合評価									
		B				本事業によりアライグマを一定数捕獲できていることから、今後も生態系等を維持し、アライグマによる被害を低減するため、事業の継続が必要です。今後について、事業の効率性を高めるための検討を行っていきます。			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 01環境保全費

目 02自然環境保護費

事務事業番号 04010202

事業名		生物多様性推進事業		担当部署	環境衛生部 環境生活課										
根拠法令															
令和3年度決算額		2,992	千円	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">項目評価</th> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td rowspan="4"> </td> </tr> <tr> <td>将来性</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> </tr> </table>	項目評価		有効性		将来性	公平性	効率性	<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>		総合評価	A
項目評価															
有効性															
将来性															
公平性															
効率性															
総合評価															
A															
財源内訳	国道支出金		千円												
	地方債		千円												
	その他		千円												
	一般財源	2,992	千円												
事業費（総計）		3,696	千円												
決算額		2,992	千円												
人件費		704	千円												
事業の目的		環境と産業が共生する持続可能な都市の実現に向け、市民等に生物多様性の基本的な考え方を発信するとともに、市内の生物多様性保全やその資源化等に係る団体、有識者等からの意見等を集約・整理し、今後、本市が優先的に取り組むべき生物多様性に係る施策の方向性を明らかにすることを目的とします。													
事業の内容 SDGs17の目標 		<ol style="list-style-type: none"> 生物多様性市民周知 市民に対して「生物多様性とは何か」「なぜ、保全と持続可能な利用が必要なのか」「どのような恩恵があるのか」等を分かりやすく発信するパンフレットを作成し、公共施設等への配布及びイベントでの利用を通じて周知を行いました。 生物多様性地域懇談会 生物多様性地域懇談会を開催し、市民や企業、環境団体等から、苫小牧市の生物多様性に関する現状や課題、資源に関する情報を収集しました。 生物多様性専門家会議 生物多様性専門家会議を開催し、生物多様性地域懇談会において収集した市内の生物多様性に関する情報等の結果を専門家に提示し、今後の苫小牧市の生物多様性の保全及び持続可能な利用に係る優先的に取り組むべき施策等の方向性を決定しました。 													
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度								
		苫小牧市の生物多様性に関するパンフレット		部	1,000	-	-								
		生物多様性地域懇談会		回	1	-	-								
		生物多様性専門家会議		回	1	-	-								
項目評価		高→低				評価の理由									
		4	3	2	1										
		有効性	●						本事業を通して、今後の生物多様性保全のために必要な方向性を決定できたことから、「4」としました。						
		効率性	●						本事業で想定していた内容が滞りなく遂行され、費用に見合った効果を得られたことから、「4」としました。						
		公平性	●						苫小牧市全体の生物多様性保全に繋がる事業であることから、「4」としました。						
将来性	●				環境と産業が共生する持続可能な都市の実現に繋がる事業であることから、「4」としました。										
総合評価		A		本事業により、今後の苫小牧市の生物多様性の保全及び持続可能な利用に係る優先的に取り組むべき施策等の方向性を決定することができました。											
特記事項															

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020101

事業名		特定不妊・不育症治療費助成事業		担当部署	健康こども部 健康支援課	
根拠法令						
令和3年度決算額		10,040	千円	項目評価		総合評価 A
財源内訳	国道支出金		千円			
	地方債		千円			
	その他	7,700	千円			
	一般財源	2,340	千円			
事業費（総計）		11,449	千円			
決算額		10,040	千円			
人件費		1,409	千円			
事業の目的		特定不妊治療及び不育症に係る検査・治療費を助成し、子どもを望む夫婦の経済的負担軽減を図ります。				
事業の内容 SDGs17の目標		<p>1 特定不妊治療及び男性不妊治療費助成 特定不妊治療及び男性不妊治療に係る治療費の一部を助成します。不妊治療でかかった費用から、北海道が実施している特定不妊治療費助成の額を引いた額に対し、5万円を上限として費用の助成をします。</p> <p>2 不育症検査・治療費助成 不育症の因子を特定するための検査や検査結果に基づく検査・治療費の一部を助成します。不育症の検査・治療にかかった費用から、北海道が実施している不育症治療費助成の額を引いた額に対し、5万円を上限として費用の助成をします。</p>				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度
		特定不妊治療費助成件数	件	197	140	160
		不育症治療費助成件数	件	5	0	1
項目評価		高→低 4 3 2 1		評価の理由		
有効性		●				特定不妊治療等を受けている夫婦の経済的負担が軽減されているため、「4」としました。
効率性		●				北海道が実施している特定不妊治療費助成を受けられる方を対象にすることで、効率的に申請を受け付けられるため、「4」としました。
公平性		●				対象者全員が申請を行うことで補助金の交付を受けられるため、「4」としました。
将来性			●			公的医療保険が適用されることになったため、今後は国や北海道の動向を注視し、事業内容の見直しを行う必要があるため、「3」としました。
総合評価		A		特定不妊治療等は、医療費が高額になるため、助成をすることにより経済的な負担軽減が図られます。一方、公的医療保険が適用されることになったため、今後は国や北海道の動向を注視し、事業内容の見直しを行う必要があります。		
特記事項						


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020102

事業名		子育て世代包括支援センター事業		担当部署	健康こども部 健康支援課			
根拠法令		母子保健法						
令和3年度決算額	7,277	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金	4,510	千円					
	地方債		千円					
	その他	2,767	千円					
	一般財源		千円					
事業費（総計）	28,585	千円						
決算額	7,277	千円						
人件費	21,308	千円						
総合評価						A		
事業の目的	妊産婦とその子を対象として、妊娠・出産・子育てにおいて切れ目のない支援体制を構築し、母子保健や育児に関する様々な悩みに対応することを目的としています。							
事業の内容 SDGs17の目標	 <p>1 利用者支援事業（母子保健型） (1) 妊娠期から子育て期にわたる母子保健、育児に関する相談 (2) 「とまっこファイル」を活用した子育てに関する情報提供 (3) 子育て支援メール「とまっこLINE」を配信し、相談窓口の周知や子育てに関するサービスの情報提供 2 産前・産後サポート事業 (1) アドバイザーによる「プレママ・ママの安心訪問事業」 （妊産、産後1年未満の産婦） 研修を受けたアドバイザーが妊産婦の相談に応じました。 (2) 「Mom'sサロン」（産後2か月から産後4か月頃の産婦と乳児） 参加者同士の交流会や妊産婦からの相談に応じました。 (3) 「多胎産後サポート事業」 （対象：産後1年未満のご家庭の保護者） 多胎児を育児しているご家庭の身体的・精神的負担を少しでも軽減するため、支援員が家事や育児、付添い支援を行いました。 3 産後ケア事業 （対象：産後4か月未満の産婦と生後7か月未満の乳児） 産後の体調の変化や授乳・育児等の不安により、支援が必要となる母子に対して、助産師が訪問し、心身のケアや育児支援を行いました。</p>							
実施結果 （活動指標）	指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度		
	相談件数（妊娠・出産・子育て）		件	765	804	643		
	ケアプラン作成数		件	416	373	394		
	とまっこメール（LINE）配信数		回	815	568	350		
項目評価	高→低				評価の理由			
	4	3	2	1				
	有効性	●						妊娠期・子育て期における様々な相談が寄せられており、切れ目のない支援に寄与しているため、「4」としました。
	効率性		●					各教室・相談事業ともに、コロナ禍における時間短縮や人数制限などの感染対策を配慮した上で実施できたため、「3」としました。
	公平性	●						母子健康手帳交付時には必ず面談し、丁寧に聞き取りを行い、必要な者に対しては継続的な支援につなげることができたため、「4」としました。今後も乳幼児健診や各教室等の様々な場面で当センターを周知していきます。
将来性	●				妊娠・出産・子育て期における様々な相談が寄せられ、当センターの認知度も浸透されつつあるため、「4」としました。			
総合評価	A				妊娠・出産・子育てに関する相談窓口の周知を図り、様々な相談に丁寧に対応しました。今後も安心して子育てができるよう、適時、相談に応じ支援していきます。			
特記事項								


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020103

事業名		父子健康手帳交付事業		担当部署	健康こども部 健康支援課	
根拠法令						
令和3年度決算額		228	千円	項目評価		
財源内訳	国道支出金		千円			
	地方債		千円			
	その他	200	千円			
	一般財源	28	千円			
事業費（総計）		1,074	千円			
決算額		228	千円			
人件費		846	千円			
総合評価		A				
事業の目的		父子健康手帳の交付、父親への子育て講座を実施し、父親が育児に関心を持ち、積極的に子育てに関わることで、母親の子育ての孤立化を防ぐことを目的とします。				
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>1 父子健康手帳の交付 妊娠や育児に関わる内容が記載された父子健康手帳を活用することにより、妻の妊娠時に父親になる意識を持ってもらえる効果を期待しています。</p> <p>2 子育て応援教室「おとうさんといっしょ!!」 4か月～1歳6か月児とその父親を対象に実施（令和2年度以降、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、母親の同席を不可としました。） （1）保育士による親子遊びの紹介 （2）保健師の講話 （3）手形アート作り</p>				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度
		父子健康手帳の交付	件	1,043	1,187	1,181
		おとうさんといっしょ開催数	回	2	2	2
		おとうさんといっしょ参加組数	組	40	41	45
項目評価		高→低		評価の理由		
		4	3	2	1	
有効性		●				参加者アンケートからも、満足度が高く、育児への関心や接し方の自信も参加前後でプラスに変化していたため、「4」としました。
効率性			●			新型コロナウイルス感染防止対策として、時間短縮や人数制限を行う必要があった中においても、効率的に実施することができたため、「3」としました。
公平性		●				毎年、リピーターが数名いたため、原則1回に変更しました。また、市民周知についても4か月・10か月児健診の案内にリーフレットを同封したほか、広報・とまっころLINEによる配信を行っているため、「4」としました。
将来性		●				今後も父親の育児参加を進めていくことが重要であるため、「4」としました。
総合評価		A		父子健康手帳の交付や父親へ子どもとの遊び方や接し方を伝えることにより、子どもの成長の見通しを立てられたり、具体的な関わり合いを意識したきっかけづくりとすることができました。今後も夫婦で子育てが積極的に行われるよう父親が育児に関心を持つ機会やきっかけづくりを図っていきます。		
特記事項						


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020104

事業名		こんには赤ちゃん事業		担当部署	健康こども部 健康支援課			
根拠法令		母子保健法						
令和3年度決算額	370	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金	246	千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	124	千円					
事業費（総計）	37,581	千円						
決算額	370	千円						
人件費	37,211	千円						
事業の目的	<p>生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報の提供、及び不安や悩みを聞くとともに、母子の心身状況や養育環境等を把握することにより、支援が必要な家庭への適切なサービス提供につなげます。</p>							
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p>  <ol style="list-style-type: none"> 家庭訪問により次の内容を実施 <ol style="list-style-type: none"> 母親の妊娠・出産経過を確認し、産後の母体について必要な助言、指導を行います。 EPDS（エジンバラ産後うつ病質問票）を用い、母親の精神面の状況把握と支援を行います。 新生児・乳児の発育や発達を観察し、必要な助言・指導を行います。 生活面や育児面の状況把握、育児不安に対する支援を行います。 活用できる社会資源情報や子育て支援情報のリーフレットを提供します。 健診、予防接種、電話相談等について説明します。 継続支援ケースの早期発見と支援 訪問者の研修 <p>赤ちゃん訪問報告学習会とケース対応会議を定期的に行い、専門的な知識・技術の向上を目指します。</p> 							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度		
	訪問実施数		件	1,016	1,113	1,086		
	訪問実施率		%	98	98	97		
項目評価	高→低				評価の理由			
	4	3	2	1				
	有効性	●						養育環境等の把握により、支援が必要な家庭に保健師によるサポートを行うことができたため、「4」としました。
	効率性	●						EPDS等を用いながら丁寧に聞き取りを行い、育児の様子や精神面の変化を観察しながら、必要に応じた支援を実施したため、「4」としました。
	公平性	●						生後4か月までの乳児のいるすべての家庭が対象であるため、「4」としました。都合により訪問できなかった家庭については、関係機関と連携し家庭の状況把握に努めています。
将来性	●				核家族化などの社会背景の中で、家庭訪問により、保健師が子育て支援に関する情報提供やサポートを行うことで、その後の子育て支援に繋がっていくため「4」としました。			
総合評価	A				子育て世代包括支援センター事業と併せて、妊娠期から子育て期まで切れ目なく支援していきます。			
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020105

事業名		新生児聴覚検査助成事業		担当部署	健康こども部 健康支援課		
根拠法令		母子保健法					
令和3年度決算額	2,780	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	2,780	千円				
事業費（総計）	5,036	千円	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	総合評価		A	
総合評価							
A							
決算額	2,780	千円					
人件費	2,256	千円					
事業の目的	聴覚障害の早期発見・早期療育が図られるよう、新生児聴覚検査に係る費用について一部公費負担を行い、保護者の経済的負担の軽減を図ります。						
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <p>新生児聴覚検査に係る初回検査の費用を一部公費負担（上限3,000円）します。</p>						
SDGs17の目標							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度	
	新生児聴覚検査費用助成人数		人	927	998	977	
項目評価	高→低				評価の理由		
	4	3	2	1			
	有効性	●				新生児期に検査を受診することで、早期発見・早期療育・早期支援につながることから、「4」としました。	
	効率性	●				令和3年度は、再検査21名のうち、2名が要精密検査となり、早期発見・支援につなげることができたため、「4」としました。	
	公平性	●				全ての新生児が対象であるため、「4」としました。なお、聴覚検査受診票の交付時に、検査の必要性を周知しています。	
将来性	●				聴覚障害は、早期に適切な支援を実施することで、聴覚障害による音声言語発達等への影響が最小限に抑えられるため、「4」としました。		
総合評価	A		今後も新生児聴覚検査の必要性を保護者へ伝え、検査の受診勧奨に努めていきます。				
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020106

事業名		苦小牧看護専門学校建設費補助		担当部署	健康こども部 健康支援課		
根拠法令							
令和3年度決算額		11,044	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債		千円				
	その他		千円				
	一般財源	11,044	千円				
事業費（総計）		11,185	千円				
決算額		11,044	千円				
人件費		141	千円	総合評価	A		
事業の目的							
<p>平成17年に校舎を建て替えた苦小牧看護専門学校の建設費を補助することで、より専門的、かつ高度な教育環境を整備し、地域で看護の専門職の育成を図ります。</p>							
事業の内容							
SDGs17の目標							
<p>苦小牧看護専門学校の建設費を補助します。</p> <p>※建設費補助総額 平成18年度～令和7年度（20年間） 242,597千円</p>							
実施結果（活動指標）							
		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度
		苦小牧看護専門学校建設費補助金		千円	11,044	11,241	11,442
項目評価							
		高→低				評価の理由	
		4	3	2	1		
有効性		●				充実した施設での看護職員養成の場を確保できているため、「4」としました。	
効率性		●				高度な教育環境にて、地域で看護の専門職の育成が図れるため、「4」としました。	
公平性		●				看護職員養成の場として広く利用されるため、「4」としました。	
将来性		●				東胆振圏域の看護師の養成と圏域の人材確保に寄与するため、「4」としました。	
総合評価		A				東胆振圏域の看護師の養成を図り圏域の人材確保につながっています。引き続き、令和4年度から令和7年度まで総額42,206千円を支出します。	
特記事項							


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020107

事業名		産婦健康診査事業		担当部署	健康こども部 健康支援課		
根拠法令		母子保健法					
令和3年度決算額		4,885	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金	2,442	千円				
	地方債		千円				
	その他		千円				
	一般財源	2,443	千円				
事業費（総計）		8,267	千円	総合評価	A		
決算額		4,885	千円				
人件費		3,382	千円				
事業の目的		産後間もない時期に産婦の体調や育児不安等を把握することを目的に産婦健康診査を行います。さらに支援が必要な産婦を産後ケア事業へ結びつけ、切れ目ない支援を行うことにより、産後うつ予防や新生児への虐待予防等を図ります。					
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>1 対象 全産婦 2 健診内容 (1) 健康状態・育児環境の把握 (2) 体重・血圧測定 (3) 尿検査 (4) こころの健康チェック (産後うつ病質問票) 3 健診委託料 一人1回のみ 5,000円 (上限) 4 健診方法 産婦健康診査受診票を1枚交付、産後2週間前後または産後1か月の健診の受診時に使用 5 その他 受診結果、ハイリスクと判断された場合、委託医療機関から連絡票を受取り、保健師による切れ目ない支援へつなげていきます。</p>					
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度
		産婦健康診査費用助成人数		人	979	1,026	973
項目評価		高→低				評価の理由	
		4	3	2	1		
有効性		●				産婦健康診査事業を実施することで、医療機関との連携をスムーズに図ることができました。また、精神面で不安定な産婦に早期に介入でき、支援につなげることができたため、「4」としました。	
効率性		●				健診結果を基に、訪問や電話相談等で支援を行い、精神面の変化を観察しながら、必要に応じた支援を実施することができたため、「4」としました。	
公平性		●				母子健康手帳の交付時に、必ず産婦健康診査についての丁寧な説明を行っているため、「4」としました。	
将来性		●				医療機関と連携しながら、円滑な支援につなげていく必要があるため、「4」としました。	
総合評価		A				医療機関での支援状況を把握することにより、産後のメンタルフォローをより丁寧にできるようになりました。今後も、必要な者に対して早期に保健師支援へつなげていきます。	
特記事項							


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 01保健衛生総務費

事務事業番号 04020108

事業名		コウノトリ検査事業		担当部署	健康こども部 健康支援課							
根拠法令												
令和3年度決算額		2,305	千円	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">項目評価</th> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"> </td> </tr> </table>	項目評価				<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>		総合評価	A
項目評価												
総合評価												
A												
財源内訳	国道支出金		千円									
	地方債		千円									
	その他		千円									
	一般財源	2,305	千円									
事業費（総計）		3,714	千円									
決算額		2,305	千円									
人件費		1,409	千円									
事業の目的		子どもを望む夫婦が早期に検査を受け、必要に応じて適切な不妊治療を開始できるよう不妊検査に係る費用に対し助成することで、不妊原因の早期発見につなげます。										
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>保険医療機関にて行った不妊検査に要した費用について、夫婦1組につき2万円を上限に助成します。</p>										
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度					
		不妊検査費助成件数		件	116	59	-					
項目評価		高→低				評価の理由						
		4	3	2	1							
		有効性	●						早期の不妊原因の発見と治療開始は重要であり、不妊検査費用を助成することで、不妊原因の早期発見につなげることができるため、「4」としました。			
		効率性	●						手続きに時間を要することもなく、より少ない人工で効果が得られているため、「4」としました。			
		公平性	●						対象者全員が申請を行うことで補助金の交付が受けられるため、「4」としました。			
将来性		●			不妊治療について、公的医療保険が適用されることになったため、今後は国や北海道の動向を注視し、事業内容の見直しを行う必要があるため、「3」としました。							
総合評価		A				子どもを望む夫婦が早期に検査を受けるきっかけづくりとすることができました。						
特記事項												

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 02予防費

事務事業番号 04020201

事業名		緊急風しん抗体検査等事業		担当部署	健康こども部 健康支援課			
根拠法令		予防接種法						
令和3年度決算額	15,761	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金	6,008	千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	9,753	千円					
事業費（総計）	19,283	千円						
決算額	15,761	千円						
人件費	3,522	千円						
事業の目的	風しんのまん延を防止するため、風しんの公的な予防接種を受ける機会がなかった世代（昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれ）の男性を対象とし、抗体検査及び予防接種を実施します。							
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 抗体検査を受け、抗体価が低いと診断された方には予防接種を実施する。（抗体検査及び予防接種の実施において本人の費用負担なし） 事業期間が令和4年3月31日から3か年延長となり、令和7年3月31日まで実施する。 <p>【令和3年度実施実績】</p> <p>対象者数20,609人（令和4年7月13日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> 抗体検査実施件数 2,160件（抗体検査実施率 約10%） うち予防接種必要件数 430件 うち予防接種実施件数 354件（予防接種実施率 約82%） 							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度		
	抗体検査実施率		%	10	11	16		
項目評価	高→低				評価の理由			
	4	3	2	1				
	有効性	●						風しんの公的な予防接種を受ける機会がなかった世代が予防接種を受けることで、風しんのまん延防止・妊婦への感染防止につながることから、「4」としました。
	効率性		●					風しんの公的な予防接種を受ける機会がなかった世代に対象を限定し効率性を高めている一方、実施率は低調であるため、「3」としました。
	公平性	●						対象者全員が抗体検査及び抗体がない場合の予防接種を受けられるため、「4」としました。
将来性	●				風しんのまん延防止・妊婦への感染拡大防止のためには、抗体保有率を高めていく必要があり、加えて、事業期間も3か年延長になったことから、「4」としました。			
総合評価	A		抗体検査実施率は10%に留まっていますが、抗体保有率は約84%となっており、国の目標である「対象世代の男性の抗体保有率90%」に近づいています。事業期間が3か年延長になったことから、抗体検査はもとより抗体陰性となった方に予防接種を受けてもらえるように、積極的な勧奨を実施していきます。					
特記事項								


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 02予防費

事務事業番号 04020202

事業名		新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業		担当部署	新型コロナウイルスワクチン接種対策室		
根拠法令		予防接種法					
令和3年度決算額		1,254,745	千円	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="margin-right: 20px;">項目評価</div> <div style="margin-left: 20px;">総合評価</div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>		
財源内訳	国道支出金	1,252,267	千円				
	地方債		千円				
	その他	2,478	千円				
	一般財源		千円				
事業費（総計）		1,313,915	千円				
決算額		1,254,745	千円				
人件費		59,170	千円				
事業の目的		新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため、予防接種法に基づく新型コロナワクチンの臨時接種体制を整備します。					
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>ワクチン接種に必要となる接種券の発送のほか、コールセンターにおける問い合わせ対応や予約受付など、円滑な接種体制を構築します。また、ワクチン接種にあたっては、個別医療機関に加え、集団接種会場を設置し、臨時接種の促進を図ります。</p>					
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度
		ワクチン接種回数		回	329,332	-	-
項目評価		高→低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				ワクチン接種の実施により、感染の拡大防止及び重症化予防が図られているため「4」としました。	
効率性		●				苫小牧市医師会及び個別医療機関との連携により、30万回を超える接種を実施することができたため、「4」としました。	
公平性		●				対象となる5歳以上の全ての方に接種券を送付し、ワクチン接種を実施することができたため、「4」としました。	
将来性				●		新型コロナウイルスの感染状況や臨時接種としてのワクチン接種期間など、今後の見通しが立たない時限的な事業であるため、「2」としました。	
総合評価		A		関係機関と連携を図り、効果的に事業を実施することができたため、「A」としました。新型コロナウイルス感染症は、感染の拡大と縮小を繰り返しており、先が見通せない状況にはありますが、今後も柔軟に対応していきます。			
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 02予防費

事務事業番号 04020203

事業名		医療提供ステーション設置事業		担当部署	健康こども部 健康支援課	
根拠法令						
令和3年度決算額		17,191	千円	項目評価		
財源内訳	国道支出金	17,179	千円			
	地方債		千円			
	その他		千円			
	一般財源	12	千円			
事業費（総計）		17,895	千円			
決算額		17,191	千円			
人件費		704	千円			
事業の目的		新型コロナウイルス感染症の軽症患者に対する、点滴投与等の日帰り医療を提供し、東胆振地域における医療体制を強化します。				
事業の内容 SDGs17の目標		<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設時間：1日6時間程度 ・施設規模：6床 ・治療人数：最大12人／日 ・事業期間：令和4年3月14日から令和4年5月2日 				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度
		1日あたりの最大治療人数	人	12	-	-
項目評価		高→低		評価の理由		
		4	3	2	1	
有効性		●				軽症患者の治療受入れにより、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、医療のひっ迫を軽減することができたため、「4」としました。
効率性		●				北海道及び苫小牧市保健所並びに苫小牧市医師会等と連携を図り、効率的に患者を受入れ、治療することができたため、「4」としました。
公平性		●				重症化の可能性がある方を対象にすることで、公平的に実施することができたため、「4」としました。
将来性				●		新型コロナウイルスの感染状況や医療のひっ迫具合など、今後の見通しが立たない状況にあるため、「2」としました。
総合評価		A		関係機関と連携を図り、効果的に事業を実施することができました。また、軽症患者の治療受入れにより、医療のひっ迫の軽減に寄与したため、「A」としました。		
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020301

事業名		がん検診推進事業		担当部署	健康こども部 健康支援課			
根拠法令		健康増進法						
令和3年度決算額	5,226	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金	1,224	千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	4,002	千円					
事業費（総計）	9,734	千円						
決算額	5,226	千円						
人件費	4,508	千円						
事業の目的	国の「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」に基づき、がんに対する正しい知識、健康意識の向上を図り、がんの早期発見のため、がん検診の受診を促進します。							
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <p>がん検診受診率を向上させるために、特定の年齢に達した方々に対し、無料クーポン券の発送によるがん検診受診のきっかけづくりや受診歴のない者へ個別に受診勧奨を実施しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 無料クーポン券発送 <ul style="list-style-type: none"> (1) 子宮頸がん検診 20歳の方（4月1日時点） (2) 乳がん検診 40歳の方（4月1日時点） 受診勧奨及び再勧奨 <ul style="list-style-type: none"> (1) 子宮頸がん及び乳がん検診クーポン券対象の未受診者へ個別に受診勧奨 (2) 子宮頸がん及び乳がん検診の受診勧奨開始時期の前倒し（9月から） (3) 胃がん、肺がん、大腸がん検診の受診勧奨実施（国保未加入の未受診者対象） 							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度		
	クーポン券発送回数（子宮・乳）		回	1	1	1		
	がん検診受診勧奨及び再勧奨回数		回	6	3	9		
項目評価	高→低				評価の理由			
	4	3	2	1				
	有効性	●						がん検診の受診により、がんの早期発見、早期治療につながることから「4」としました。
	効率性	●						がん検診の有効性や受診料金の助成があることをわかりやすく説明した、個別はがきによる受診勧奨を行った結果、送付者の30～40%が受診行動につながったため、「4」としました。
	公平性	●						対象者全員に無料クーポン券を送付しており、公平性は保たれているため、「4」としました。
将来性	●				今後も無料クーポンの送付及び個別の受診勧奨を継続し、がんの早期発見につなげ、がんによる死亡者の減少を目指していくことから「4」としました。			
総合評価	A				個別勧奨を前年度より早めて実施したことや対象者を広げたことにより、令和3年度は、すべてのがん検診受診者数が前年度より増加しました。今後も、より受診者が増えるよう勧奨時期を見直し、個別勧奨を継続します。			
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020302

事業名		肝炎ウイルス検診推進事業		担当部署	健康こども部 健康支援課	
根拠法令		健康増進法				
令和3年度決算額	6,842	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金	4,999	千円			
	地方債		千円			
	その他		千円			
	一般財源	1,843	千円			
事業費（総計）	11,068	千円				
決算額	6,842	千円				
人件費	4,226	千円				
事業の目的	<p>特定の年齢に達した方々に対して肝炎ウイルス検診の受診を促進し、必要に応じて保健指導を受け、医療機関を受診することにより、肝炎による健康被害を回避し、進行を遅延させることを目的とします。また、肝炎ウイルスについての正しい知識を普及します。</p>					
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <p>特定の年齢に達した方々に対し、無料クーポン券を発送し、肝炎ウイルス検診の受診勧奨を図りました。</p> <p>【無料クーポン券対象者】 40・45・50・55・60・65歳男女（4月1日時点）</p> <p>※過去に肝炎ウイルスを受診した方は、対象外（B型・C型のいずれか一方の検診経験のある方は、検診歴のないウイルス型の検診であれば受診可能）</p>					
実施結果（活動指標）	指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度
	無料クーポン券発送回数		回	1	1	1
項目評価	高→低			評価の理由		
	4	3	2	1		
有効性	●				肝炎ウイルス検診の受診により、疾病の早期発見、早期治療につながることから、「4」としました。	
効率性	●				過去に当該肝炎ウイルス検診を受けたことのある方は、無料クーポンの対象者から除いて案内しているため、「4」としました。	
公平性	●				対象者全員に無料クーポン券を送付しており、公平性は保たれているため、「4」としました。	
将来性	●				疾病の早期発見、早期治療につなげていけるように、今後も対象者への無料クーポン券の送付を行っていくため、「4」としました。	
総合評価	A			無料クーポン券の発送により、肝炎ウイルス検診を受診する契機となっているため、今後も継続して肝炎ウイルスに対する、正しい知識の普及啓発も図っていきます。		
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020303

事業名		こころの健康づくり事業		担当部署	健康こども部 健康支援課			
根拠法令		自殺対策基本法						
令和3年度決算額		804	千円	項目評価	有効性			
財源内訳	国道支出金	451	千円		総合評価 A			
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	353	千円					
事業費（総計）	7,847	千円						
決算額		804	千円					
人件費		7,043	千円					
事業の目的		北海道実施の「北海道自殺対策行動計画」及び第2次健康増進計画（自殺対策推進計画包含「生きるを支える苫小牧市自殺対策行動計画」）に基づき、自殺予防対策を強化します。						
事業の内容 SDGs17の目標		<p>「生きる」を支える苫小牧市自殺対策行動計画（令和2～4年度）に基づき、自殺対策に携わる人材の育成及び自殺予防に関する啓発、こころに不安を抱えている方の相談に応じる等、自殺対策を実施しました。</p> <p>1 「ゲートキーパー」養成講座の実施 身近な人の自殺のサインに気づき、相談に応じたり、関係機関へつなげる人材を育成しました。</p> <p>2 メンタルセルフチェックシステム「こころの体温計」の活用 市ホームページのメンタルセルフチェックシステム「こころの体温計」等を活用し、命とこころの健康を守る取組を強化しました。</p> <p>3 普及啓発の実施 自殺予防パネル展示やこころの健康に関する情報を発信する等、普及啓発を図りました。</p> <p>4 こころの相談日の開催 こころの悩みや不安を抱えている方の相談に応じることで、悩みの解消につながり、自殺念慮を抱える者を減少させることに努めました。</p>						
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度
		ゲートキーパー養成講座			回	5	5	5
		「こころの体温計」アクセス数			回	24,020	26,453	25,282
		自殺予防パネル展実施			回	2	2	2
		こころの相談日			回	12	6	-
項目評価		高→低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性		●				苫小牧市の自殺者は毎年増減を繰り返しており、自殺予防に携わる人材育成、自殺予防に関する知識の普及、こころの相談に対する相談窓口等は必要であるため、「4」としました。		
効率性		●				メンタルセルフチェックシステム「こころの体温計」を活用により、ストレスを感じる方が自身のタイミングでストレス度を確認できるため、「4」としました。		
公平性		●				苫小牧市ホームページや「広報とまこまい」により、こころの相談窓口や、自殺対策に携わる人材育成講習等の周知を行っているため、「4」としました。		
将来性		●				こころの相談窓口が周知されたことで、相談件数が増加しており、今後も関係機関と連携を図りながら、こころに不安を抱える方の相談に対応していくことから、「4」としました。		
総合評価		A						
特記事項		ゲートキーパー養成講座を開催し、身近な人のこころの相談に応じ関係機関につなげる人材を育成することができました。また、令和2年度に、こころに悩みを抱える方の相談に応じる「こころの相談日」を開設したことで、相談のしやすい環境が整ったことから、相談件数も増加しています。						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020304

事業名		中学生へのピロリ菌検査・除菌支援事業		担当部署	健康こども部 健康支援課																																				
根拠法令																																									
令和3年度決算額		1,670	千円	項目評価																																					
財源内訳	国道支出金		千円																																						
	地方債		千円																																						
	その他		千円																																						
	一般財源	1,670	千円																																						
事業費（総計）		3,079	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 総合評価 A </div>																																					
決算額		1,670	千円																																						
人件費		1,409	千円																																						
事業の目的		<p>胃がん、慢性胃炎及び胃・十二指腸潰瘍等の主な原因となるピロリ菌について、若年期のうちに検査・除菌することにより、将来的なそれらの病気の予防や子どもへの感染を予防できることから、中学2年生を対象に行います。</p>																																							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>1 対象者 苫小牧市内に居住する中学2年生で保護者の同意があった者</p> <p>2 実施内容 (1) 尿中抗体検査（一次検査 ※学校保健安全法による尿検査と同時に実施） (2) 尿素呼気試験（二次検査 ※一次検査陽性者が対象） (3) 除菌治療（投薬治療及び除菌判定 ※二次検査陽性者が対象）</p>																																							
実施結果（活動指標）		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R3年度</th> <th>R2年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一次検査受検率</td> <td>%</td> <td>90.9</td> <td>92.5</td> <td>87.9</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度	一次検査受検率	%	90.9	92.5	87.9																										
指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度																																					
一次検査受検率	%	90.9	92.5	87.9																																					
項目評価		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="4">高→低</th> <th rowspan="2">評価の理由</th> </tr> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>各検査いずれも高い受検率となっていることから、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ているため、「4」としました。※一次検査受検率90.9%、二次検査受検率94.4%、除菌治療受検率100%</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>学校保健安全法による尿検査と同時に一次検査を行うことにより、効率的に実施できているため、「3」としました。</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>保護者から同意が得られた全ての中学2年生を対象としているため、「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>将来性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>若年期のうちにピロリ菌検査・除菌することで、将来的な胃がん、慢性胃炎等の予防が期待できることから、「4」としました。</td> </tr> </tbody> </table>				項目	高→低				評価の理由	4	3	2	1	有効性	●				各検査いずれも高い受検率となっていることから、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ているため、「4」としました。※一次検査受検率90.9%、二次検査受検率94.4%、除菌治療受検率100%	効率性		●			学校保健安全法による尿検査と同時に一次検査を行うことにより、効率的に実施できているため、「3」としました。	公平性	●				保護者から同意が得られた全ての中学2年生を対象としているため、「4」としました。	将来性	●				若年期のうちにピロリ菌検査・除菌することで、将来的な胃がん、慢性胃炎等の予防が期待できることから、「4」としました。		
項目	高→低				評価の理由																																				
	4	3	2	1																																					
有効性	●				各検査いずれも高い受検率となっていることから、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ているため、「4」としました。※一次検査受検率90.9%、二次検査受検率94.4%、除菌治療受検率100%																																				
効率性		●			学校保健安全法による尿検査と同時に一次検査を行うことにより、効率的に実施できているため、「3」としました。																																				
公平性	●				保護者から同意が得られた全ての中学2年生を対象としているため、「4」としました。																																				
将来性	●				若年期のうちにピロリ菌検査・除菌することで、将来的な胃がん、慢性胃炎等の予防が期待できることから、「4」としました。																																				
総合評価		A				将来的な胃がん、慢性胃炎等の予防や子どもへの感染予防の観点から、学校保健安全法による尿検査との同時実施を継続します。																																			
特記事項																																									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020305

事業名		歯周病検診事業		担当部署	健康こども部 健康支援課				
根拠法令		健康増進法							
令和3年度決算額		3,881	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金	2,587	千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源	1,294	千円						
事業費（総計）		6,698	千円	総合評価	A				
決算額		3,881	千円						
人件費		2,817	千円						
事業の目的		成人期は歯周病に罹患する人が増加する時期であることから、特定の年齢に達した方々を対象に、健康増進法に基づく歯周病検診を実施します。							
事業の内容 SDGs17の目標		<p>特定の年齢に達した方々に歯周病検診受診券を発送し、歯周病検診の受診勧奨を図ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 受診券対象者 40・50・60・70歳男女 検診費用 540円（満70歳の方、市民税非課税世帯、生活保護世帯の方は無料） 有効期限 対象年齢の誕生日を迎えてから、次の誕生日の前日まで 							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度		
		受診券発送回数		回	2	2	2		
項目評価		高→低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				令和3年度の受診者のうち、44.9%が要精密検査となり、このうち82.3%の方が精密検査の受診につながっているため、「4」としました。			
効率性			●			6月と9月の2回に分けて受診券を発送し、受診勧奨を図っているため「3」としました。			
公平性		●				対象者全員に受診券を送付しており、公平性は保たれているため、「4」としました。			
将来性		●				歯周病検診により、異常の発見、歯周疾患の治療につなげることは、将来的な医療費削減に大きく貢献することから、「4」としました。			
総合評価		A		歯周病は、歯の喪失をもたらす疾患であり、成人期においてはいまだに有病率等も高く、全身疾患や生活習慣との関係が注目されていることから、引続き歯周病予防対策を推進していきます。					
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020306

事業名		健康フェスタ事業		担当部署	健康こども部 健康支援課				
根拠法令									
令和3年度決算額		338	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源	338	千円						
事業費（総計）		2,451	千円	総合評価	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">B</div>				
決算額		338	千円						
人件費		2,113	千円						
事業の目的		健康づくりに関し、市民が参加できるイベント型で事業を実施します。当事業への参加をきっかけに市民一人ひとりが健康を意識し、能動的かつ継続的に健康づくりに取り組むことができる環境整備を行います。							
事業の内容 SDGs17の目標		<p>令和3年度から、より健康意識の向上につながる事業となるよう、対象者とテーマを絞り、事業名も健康フェスタから健考・健幸DAY～健康について考える日にしませんか～と変更しました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、来場型を中止して講演内容を苫小牧市公式Youtubeにて動画配信しました。</p> <p>1 苫小牧市の健康課題の1つでもある「高血圧」をテーマに、各講演1週間ずつ「高血圧のメカニズム」、「血圧のおくすり事情」、「減塩のヒント」、「ご自身の血圧、知っていますか？」の全4話を動画配信しました。</p>							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度		
		健康フェスタ参加者数		人	-	中止	1,512		
		健康・健康DAY			中止	-	-		
項目評価		高→低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性			●			全4話の平均視聴回数は平均526回で、アンケート結果より全員が「参考になった」「まあまあ参考になった」と回答しており、知識の普及や生活習慣の改善の意識づけの一助とすることができたため、「3」としました。			
効率性			●			新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から来場型を中止して、動画による健康情報を発信したため、「3」としました。			
公平性				●		動画を視聴できる年代が限定的になったと推測しているため、「2」としました。			
将来性			●			これまで不特定多数の市民を対象とした事業でしたが、より健康意識の向上につながるよう、対象者を絞り必要な方に十分健康情報を伝えられるよう事業内容を変更しました。若年層の参加が少ないため、今後、若年層も参加しやすい企画の検討が必要であると考えていることから「3」としました。			
総合評価		B		これまでポピュレーションアプローチを目的とした事業を展開してきました。今後は継続的な生活習慣改善には意識づくりと仲間づくりが重要であるとの考えのもと、市民同士の口コミによる健康情報の伝達により、健康に関心を持つ仲間を増やすことで、市民の健康意識の向上につなげます。					
特記事項									


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020307

事業名		夜間・休日急病センター開設経費		担当部署	健康こども部 健康支援課	
根拠法令						
令和3年度決算額		7,671	千円	項目評価		
財源内訳	国道支出金		千円			
	地方債		千円			
	その他		千円			
	一般財源	7,671	千円			
事業費（総計）		8,023	千円	総合評価	A	
決算額		7,671	千円			
人件費		352	千円			
事業の目的		平成20年度に建設した夜間・休日急病センターについて、一般財団法人ハスカッププラザが所有する建物を市が借用していることから、家賃相当分として建設費の元利償還金分を支払います。				
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>夜間・休日急病センターの建設費元利償還金分を支払います。</p> <p>※建設費元利償還金総額 平成21年度～令和15年度 191,886千円</p>				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度
		夜間・休日急病センター開設経費補助金	千円	7,671	7,671	7,671
項目評価		高一低		評価の理由		
		4	3	2	1	
有効性		●				夜間・休日における急病患者の医療確保につながるため、「4」としました。
効率性		●				より少ない人工で必要な効果が得られているため、「4」としました。
公平性		●				一次救急医療の拠点として広く一般市民が利用できる施設であるため、「4」としました。
将来性		●				市民の健康の保持に必要な施設であるため、「4」としました。
総合評価		A		休日当番医とともに地域における救急医療体制の整備を図ることができました。引き続き、急病患者の医療体制を確保していきます。		
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020308

事業名		苦小牧市保健センター建設費補助		担当部署	健康こども部 健康支援課			
根拠法令								
令和3年度決算額		40,103	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	40,103	千円					
事業費（総計）		40,455	千円					
決算額		40,103	千円					
人件費		352	千円					
事業の目的		平成26年度に建設した苦小牧市保健センターについて、一般財団法人ハスカッププラザが所有する建物を市が借用していることから、家賃相当分として建設費の元利償還金分を支払います。						
事業の内容 SDGs17の目標		<p>苦小牧市保健センターの建設費の元利償還金分を支払います。</p> <p>※建設費元利償還金総額 平成27年度～令和26年度 1,203,161千円</p>						
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度	
		苦小牧市保健センター建設費補助金		千円	40,103	40,103	40,103	
項目評価		高→低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●						保健センターにおける各種健康診査等の実施により、市民の健康保持及び増進に寄与しているため、「4」としました。
効率性		●						より少ない人工で必要な効果が得られているため、「4」としました。
公平性		●						市民の健康保持及び増進を図るために設置した施設であり、広く市民が利用できるため、「4」としました。
将来性		●				市民の健康保持及び増進に必要な施設であるため、「4」としました。		
総合評価		A				各種健康診査を実施するなど、市民の健康保持及び健康増進につながる取り組みを実施することができました。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020309

事業名		就学前フッ化物洗口支援事業		担当部署	健康こども部 健康支援課	
根拠法令						
令和3年度決算額		211	千円	項目評価		
財源内訳	国道支出金		千円			
	地方債		千円			
	その他		千円			
	一般財源	211	千円			
事業費（総計）		1,620	千円			
決算額		211	千円			
人件費		1,409	千円			
事業の目的		幼児（就学前）のフッ化物使用により、丈夫な歯質が作られ、就学前後に生え始める永久歯に効果が得られることから、虫歯予防のためのフッ化物洗口事業を支援します。				
事業の内容		SDGs17の目標 <ol style="list-style-type: none"> 1 年長児を対象としたフッ化物洗口を実施する市内の保育・幼児施設に対し、使用する薬剤を提供し継続的な実施を支援しました。 2 フッ化物洗口の方法 <ol style="list-style-type: none"> (1) フッ化物薬剤（オラブリス）を水に溶かして0.1%の洗口液を作ります。 (2) 洗口液5mlをコップへ注ぎ、1分間うがいをを行います。 (3) 上記を週2回実施します。 				
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度
		実施園	件	26	28	28
		実施園児数	人	495	578	773
項目評価		高→低		評価の理由		
		4	3	2	1	
有効性		●				就学前の幼児は、永久歯が生え始める時期で、この時期からフッ化物洗口を行うことにより丈夫な歯質が作られ、虫歯予防のひとつとして有効であることから、「4」としました。
効率性		●				フッ化物洗口は、少ない費用で実施できることから「4」としました。
公平性			●			新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施を見合わせる園があったため、「3」としました。
将来性		●				健康な生活を送る上で歯は重要であり、永久歯が生え始める幼児期からむし歯を予防することで、将来的な医療費削減に大きく貢献することから、「4」としました。
総合評価		A		平成27年度から全小学校でフッ化物洗口が導入されたことにより、本市の12歳児の一人平均う歯数は平成27年度1.53から令和3年度0.79と減少しています。今後もフッ化物洗口の有効性や実施時の感染対策について周知しながら、事業を実施していきます。		
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020310

事業名		受動喫煙防止対策事業		担当部署	健康こども部 健康支援課						
根拠法令		健康増進法									
令和3年度決算額		387	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	387	千円								
事業費（総計）		1,091	千円								
決算額		387	千円								
人件費		704	千円								
事業の目的		喫煙が及ぼす健康への影響について、正しい知識の普及啓発を図るとともに、民間施設における分煙設備などの整備に対する助成を行い、「受動喫煙のない、空気のきれいな健康のまち」を目指します。									
事業の内容 SDGs17の目標 		<ol style="list-style-type: none"> 苦小牧市空気もおいしい施設の認定 <ul style="list-style-type: none"> 敷地内又は屋内を全面禁煙としている民間施設を「苦小牧市空気もおいしい施設」として認定し、認定証とステッカーを交付。 苦小牧市受動喫煙防止対策助成金 <ul style="list-style-type: none"> 民間施設における分煙設備などの整備に対し、国の受動喫煙防止対策助成金に上乗せし、助成金を交付。 (助成上限額) 1事業所あたり10万円 苦小牧市飲食店全面禁煙化補助金の創設 <ul style="list-style-type: none"> 店舗を全面禁煙化に取り組む既存特定飲食提供施設に対し、店舗クリーニング費用等の一部を補助。 (助成上限額) 1店舗あたり5万円 受動喫煙防止対策に係る事業者アンケートの実施 									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度			
		空気もおいしい施設認定件数			件	1	10	34			
項目評価		高→低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性			●						新型コロナウイルス感染症の影響により、空気もおいしい施設の認定申請が前年度を下回りましたが、アンケートやHPでの周知を通じて受動喫煙防止の啓発につなげることができたことから、「3」としました。		
効率性			●						市民や事業者の方々に適切な受動喫煙対策を講じていただくには、中長期的に継続した取組が必要であることから、「3」としました。		
公平性		●							受動喫煙の防止に向けた取り組みは、すべての市民、事業者等が相互に連携し、協力して行っていくものであるため、「4」としました。		
将来性		●				受動喫煙による健康に及ぼす影響について、市民の理解促進を図り、受動喫煙を防止する環境づくりを推進していく必要があるため、「4」としました。					
総合評価		A				改正健康増進法により、受動喫煙防止の取組を推進することは地方公共団体の責務となっていることから、効率的な事業の実施に努めていきます。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 03健康対策費

事務事業番号 04020311

事業名		苦小牧市食育推進計画策定事業		担当部署	健康こども部 健康支援課			
根拠法令		食育基本法						
令和3年度決算額		259	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	259	千円					
事業費（総計）		4,485	千円	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	総合評価		A	
総合評価								
A								
決算額		259	千円					
人件費		4,226	千円					
事業の目的		市民が生涯にわたって健全な食生活を実現し豊かな心とすこやかなからだをつくることのできるよう、食育基本法に基づき第2次苦小牧市食育推進計画を策定します。						
事業の内容 SDGs17の目標					<p>苦小牧市食育推進計画が令和3年度をもって期間終了となることから、令和4年度から令和8年度を期間とする第2次苦小牧市食育推進計画を策定しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 苦小牧市食育推進協議会の開催 ・ 食育に関する市民アンケート調査の実施 ・ 苦小牧市食育推進計画の見直し及び策定 			
		<p style="text-align: center;">【第2次苦小牧市食育推進計画】</p>						
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度	
		苦小牧市食育推進協議会開催回数		回	4	1	1	
		市民アンケート調査票配布数		件	3,828	-	-	
項目評価		高→低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性		●				苦小牧市食育推進協議会や市民アンケート調査の実施により幅広い意見を取り入れたことで、より充実した計画を策定することができたため、「4」としました。		
効率性		●				事業費の大半が職員や協議会委員に対する人件費であり、必要最低限の経費で事業を達成することができたため、「4」としました。		
公平性		●				食育は、性別・年代に関係なく全ての市民を対象として計画を推進しているため、「4」としました。		
将来性		●				今後も引き続き市民の食への関心や理解を深めるため、食育に関する施策を計画的に推進していく必要があることから、「4」としました。		
総合評価		A		<p>今年度の取組により、市民意見や社会環境の変化を反映させた計画を策定することができたため、「A」としました。</p> <p>今後は、本計画で掲げた目標を達成するため、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進していきます。</p>				
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 04衛生諸費

事務事業番号 04020401

事業名		公衆浴場設備整備助成		担当部署	環境衛生部 環境生活課												
根拠法令		苫小牧市公衆浴場助成要綱															
令和3年度決算額		900	千円	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">項目評価</th> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td rowspan="4"> </td> </tr> <tr> <td>将来性</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> </tr> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> <td colspan="2">A</td> </tr> </table>	項目評価		有効性		将来性	公平性	効率性	総合評価		A			
項目評価																	
有効性																	
将来性																	
公平性																	
効率性																	
総合評価		A															
財源内訳	国道支出金		千円														
	地方債		千円														
	その他		千円														
	一般財源	900	千円														
事業費（総計）		1,604	千円														
決算額		900	千円														
人件費		704	千円														
事業の目的		公衆浴場法第2条第1項による許可を受けたものであって物価統制令第4条により入浴料金が定められている公衆浴場に対し補助（助成）金を交付することにより、公衆浴場経営の安定を図るとともに、高齢者等が利用しやすい公衆浴場づくりを推進し、市民の保健衛生の向上に資することを目的とします。															
事業の内容 SDGs17の目標		<p>1 公衆浴場設備整備助成事業について 公園湯における内釜更新への助成金を交付しました。</p> <p>【参考】 ○公衆浴場の経営に必要な設備の整備 ・対象経費 公衆浴場の内釜、元釜、バーナー、温水器、温度調節器、ろ過器、廃油燃焼器、煙突及び塩素滅菌器の設置又は更新（設備ごとに助成限度額あり） ・助成額基準 入浴率100%以上200%未満 補助対象設備の基準額の6分の1 入浴率80%以上100%未満 補助対象設備の基準額の3分の1 入浴率80%未満 補助対象設備の基準額の2分の1 （入浴率とは、平均入浴客数を基準入浴客数で除して得た数） ○高齢者等に配慮した設備の整備 ・対象経費 男女各浴室内の主浴槽への手すりの設置 ・助成額基準 設置経費の2分の1以内（限度額68,000円）</p>															
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度										
		助成件数		件	1	0	1										
項目評価		高→低		評価の理由													
		4	3	2	1												
有効性		●				公衆浴場の経営が困難な状況において、改修費用の捻出が厳しいことから、当該助成事業の有効性は高いものと考え「4」としました。											
効率性			●			可能な限り早い段階で浴場経営者への聞き取りを実施し、漏れがなく効果的な事業となるよう意識しており「3」としました。											
公平性			●			すべての浴場経営者への聞き取りを実施し、公平な事業となるよう調整を図っており、また、市民の保健衛生の向上に資することから「3」としました。											
将来性		●				社会をとりまく情勢の変化により、浴場利用に対する意識が変化し、「入浴できれば良い」から、自宅の浴室にはない付加価値的なニーズに加え、高齢者等にとって安全で安心な施設として将来にわたっての安定的な経営が必要と考えており「4」としました。											
総合評価		A		依然として公衆浴場経営が困難な傾向にあり、市民の保健衛生の向上、高齢者等の安全・安心な生活環境の確保に資することから、助成額の増額や助成内容の拡充などについて検討する必要があると考えています。													
特記事項																	

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 04衛生諸費

事務事業番号 04020402

事業名		公衆浴場確保対策事業		担当部署	環境衛生部 環境生活課	
根拠法令		苫小牧市公衆浴場助成要綱				
令和3年度決算額	625	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金	千円	<div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 5px;">総合評価 A</div>			
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	625				
事業費（総計）	1,329	千円				
決算額	625	千円				
人件費	704	千円				
事業の目的	公衆浴場法第2条第1項による許可を受けたものであって物価統制令第4条により入浴料金が定められている公衆浴場に対し補助（助成）金を交付することにより、公衆浴場の確保を図り、市民の保健衛生の向上に資することを目的とします。					
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <p>1 公衆浴場確保対策事業について 松の湯、大豊湯に対し補助金を交付しました。</p> <p>【参考】 ○助成額基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入浴率が60%未満 500,000円 ・入浴率が60%以上70%未満 300,000円 ・入浴率が70%以上80%未満 200,000円 ・入浴率が80%以上100%未満 125,000円 <p>（入浴率とは、平均入浴客数を基準入浴客数で除して得た数）</p>					
実施結果（活動指標）	指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度
	助成件数		件	2	3	2
項目評価	高→低		評価の理由			
	4	3	2	1		
有効性	●				公衆浴場経営が困難な状況において、入浴率が低い公衆浴場経営者に対するこの補助金の有効性は高いものと考え「4」としました。	
効率性		●			可能な限り早い段階で浴場経営者への聞き取りを実施し、漏れがなく効果的な事業となるよう意識しており「3」としました。	
公平性		●			すべての浴場経営者への聞き取りを実施し、公平な事業となるよう調整を図っており、また、市民の保健衛生の向上に資することから「3」としました。	
将来性	●				社会をとりまく情勢の変化により、浴場利用に対する意識が変化し、「入浴できれば良い」から、自宅の浴室にはない付加価値的なニーズに加え、高齢者等にとって安全で安心な施設として将来にわたっての安定的な経営が必要と考えており「4」としました。	
総合評価	A		依然として公衆浴場経営が困難な傾向にあり、市民の保健衛生の向上、高齢者等の安全・安心な生活環境の確保に資することから、助成額の増額や助成内容の拡充などについて検討する必要があると考えています。			
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 04衛生諸費

事務事業番号 04020403

事業名		霊葬場整備事業		担当部署	環境衛生部 環境生活課		
根拠法令		墓地、埋葬等に関する法律、苫小牧市高丘霊葬場条例					
令和3年度決算額		19,689	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金		千円	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 将来性 効率性 </div>			
	地方債		千円				
	その他		千円				
	一般財源	19,689	千円				
事業費（総計）	21,098	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 総合評価 A </div>				
決算額	19,689	千円					
人件費	1,409	千円					
事業の目的		高丘霊葬場は、人生終焉の場として市民生活に不可欠な施設であります。平成9年度の供用開始から25年が経過し火葬炉設備等の劣化が著しいことから、計画的な点検整備を行い、安定的に施設を運営します。また、高齢者等の利便性向上のため待合室に椅子、テーブルを設置します。					
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>3</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>8</p> </div> </div> <p>1 霊葬場整備事業について 安定的な事業を継続するため、下記工事及び、備品の設置を行いました。</p> <p>(1)主な工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 炉内台車新規取替（3台分） ・ 主燃焼バーナー本体交換修理（3号炉） ・ 炉圧コントロールモーター交換（3号炉） ・ 再燃焼室耐火物全面交換（1号炉） ・ 炉圧制御ダンパー及び排ガス冷却器交換（5号炉） <p>(2)備品設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 椅子128脚、テーブル48台、タイルカーペット279㎡ 設置 					
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度
		火葬件数		件	2,152	2,065	2,086
		会葬者数		人	24,134	24,314	32,168
項目評価		高→低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				施設の老朽化による小規模な故障等はあるが、安定的に事業の継続ができていることから、事業の有効性は高く、費用対効果についても高いものと考え「4」としました。	
効率性		●				高丘霊葬場は止めることのできない施設として位置づけており、精度の高い保守点検により効率的な事業を実施していることから「4」としました。	
公平性		●				霊葬場指定管理者及び保守点検事業者とは必要に応じて意見交換の場を設け、十分な調整を行ったうえで事業の実施に努めています。また、市民の声を参考に施設管理の方法等の見直しを図っていることから「4」としました。	
将来性		●				将来においても、引き続き火葬炉の停止等による利用者へのサービス低下を招かないよう、安定的なサービスを提供していく必要があることから「4」としました。	
総合評価		A		定期整備の実施に加え、2040年頃まで火葬件数の増加が見込まれることから、増炉等大規模改修に向けた取り組みを進めていきます。			
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 02保健衛生費

目 04衛生諸費

事務事業番号 04020404

事業名		霊園管理基金積立金		担当部署	環境衛生部 環境生活課																																			
根拠法令		苫小牧市霊園管理基金条例																																						
令和3年度決算額		1,368	千円	項目評価																																				
財源内訳	国道支出金		千円																																					
	地方債		千円																																					
	その他	1,200	千円																																					
	一般財源	168	千円																																					
事業費（総計）		2,072	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 総合評価 A </div>																																				
決算額		1,368	千円																																					
人件費		704	千円																																					
事業の目的		霊園管理基金（以下「基金」という。）は、昭和57年7月から新規墓所の管理料を積み立て、運用利息により霊園の維持管理費を賄うこと（果実運用型基金）を目的として設置しました。平成29年度からは、共同墓の管理料の2分の1を将来予想される共同墓の修繕費用に充てるため、積み立てを継続します。																																						
事業の内容		SDGs17の目標 <p>1 基金の積立及び取り崩しについて 基金について、下記のとおり積立、取り崩しを行いました。</p> <p>○平成18年度の条例改正により、基金の取り崩しを可能にしました。 ○平成29年度の共同墓設置により、共同墓管理料の2分の1を積み立てることとしました。</p> <p>令和2年度末基金残高 56,828,477円 令和3年度基金積立金 1,368,000円（令和2年度上振分168,000円と出納整理期間中の積立分104,000円を含む）</p> <p>令和3年度基金取崩し額 ▲10,359,862円 令和3年度末基金残高 47,836,615円</p>																																						
実施結果（活動指標）		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R3年度</th> <th>R2年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基金の年度末残高</td> <td>千円</td> <td>47,837</td> <td>56,828</td> <td>62,036</td> </tr> <tr> <td>積立金額</td> <td>千円</td> <td>1,368</td> <td>2,144</td> <td>2,224</td> </tr> </tbody> </table>					指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度	基金の年度末残高	千円	47,837	56,828	62,036	積立金額	千円	1,368	2,144	2,224																			
指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度																																				
基金の年度末残高	千円	47,837	56,828	62,036																																				
積立金額	千円	1,368	2,144	2,224																																				
項目評価		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">高→低</th> <th rowspan="2">評価の理由</th> </tr> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効性</td> <td style="text-align: center;">●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>基金は、これまでも霊園維持管理費の不足分や大規模改修工事などへ活用し、墓参者の利便性や安全性の向上に寄与してきました。また、将来の大規模改修時の財政支出の平準化という観点からも、この基金の果たすべき役割は大きいと考えていることから「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td></td> <td style="text-align: center;">●</td> <td></td> <td></td> <td>新規墓所の貸付可能数がなくなったこと、また、共同墓については供用開始年度以降は受付体数の逡減により基金の減少が見込まれることから「3」としました。</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td style="text-align: center;">●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>平成18年度から基金の取り崩しを可能とし、霊園の維持管理費の不足分や大規模改修工事などにこれまで活用してきたことから「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>将来性</td> <td></td> <td style="text-align: center;">●</td> <td></td> <td></td> <td>将来において大規模改修工事が必要になり、基金が残っていない場合、一般財源で全額を賄うことになり、財政支出を平準化する上で必要なことから「3」としました。</td> </tr> </tbody> </table>						高→低				評価の理由	4	3	2	1	有効性	●				基金は、これまでも霊園維持管理費の不足分や大規模改修工事などへ活用し、墓参者の利便性や安全性の向上に寄与してきました。また、将来の大規模改修時の財政支出の平準化という観点からも、この基金の果たすべき役割は大きいと考えていることから「4」としました。	効率性		●			新規墓所の貸付可能数がなくなったこと、また、共同墓については供用開始年度以降は受付体数の逡減により基金の減少が見込まれることから「3」としました。	公平性	●				平成18年度から基金の取り崩しを可能とし、霊園の維持管理費の不足分や大規模改修工事などにこれまで活用してきたことから「4」としました。	将来性		●			将来において大規模改修工事が必要になり、基金が残っていない場合、一般財源で全額を賄うことになり、財政支出を平準化する上で必要なことから「3」としました。
	高→低				評価の理由																																			
	4	3	2	1																																				
有効性	●				基金は、これまでも霊園維持管理費の不足分や大規模改修工事などへ活用し、墓参者の利便性や安全性の向上に寄与してきました。また、将来の大規模改修時の財政支出の平準化という観点からも、この基金の果たすべき役割は大きいと考えていることから「4」としました。																																			
効率性		●			新規墓所の貸付可能数がなくなったこと、また、共同墓については供用開始年度以降は受付体数の逡減により基金の減少が見込まれることから「3」としました。																																			
公平性	●				平成18年度から基金の取り崩しを可能とし、霊園の維持管理費の不足分や大規模改修工事などにこれまで活用してきたことから「4」としました。																																			
将来性		●			将来において大規模改修工事が必要になり、基金が残っていない場合、一般財源で全額を賄うことになり、財政支出を平準化する上で必要なことから「3」としました。																																			
総合評価		<div style="font-size: 3em; font-weight: bold; letter-spacing: 0.5em;">A</div> <p>貸付可能な新規墓所が令和2年度をもって残数がなくなり、再使用墓所の貸付のみとなり管理料の積み立てができなくなった現状に鑑み、今後の基金の在り方について方向性を明確に示す時期を迎えていることから、検討を進めていきます。</p>																																						
特記事項																																								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 02塵芥処理費

事務事業番号 04030201

事業名		資源物中間処理事業		担当部署	環境衛生部 ゼロごみ推進課																					
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例																								
令和3年度決算額		211,994	千円	項目評価																						
財源内訳	国道支出金		千円																							
	地方債		千円																							
	その他	180,736	千円																							
	一般財源	31,258	千円																							
事業費（総計）		213,403	千円	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>				総合評価		A																
総合評価																										
A																										
決算額		211,994	千円																							
人件費		1,409	千円																							
事業の目的		「053（ゼロごみ）のまち とまこまい」の実現に向け、ごみとして出された資源物（プラスチック、缶、びん、ペットボトル、紙パック）を選別する中間処理業務を実施し、ごみの減量とリサイクルを推進します。																								
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>1 各家庭からごみとして排出されたものを分別することで、資源物としてリサイクルするための中間処理事業を実施しました。 (1) 容器包装プラスチックとその他プラスチックの選別・資源化 (2) びん、ペットボトルの選別・資源化 (3) 缶、紙パックの選別・売却</p>																								
実施結果（活動指標）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R3年度</th> <th>R2年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リサイクル率</td> <td>%</td> <td>31.0</td> <td>30.8</td> <td>31.2</td> </tr> <tr> <td>容器包装プラスチック資源化量</td> <td>トン</td> <td>2,593</td> <td>2,553</td> <td>2,506</td> </tr> <tr> <td>資源物出荷量（缶・びん・ペット・紙パック）</td> <td>トン</td> <td>1,661</td> <td>1,689</td> <td>1,593</td> </tr> </tbody> </table>					指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度	リサイクル率	%	31.0	30.8	31.2	容器包装プラスチック資源化量	トン	2,593	2,553	2,506	資源物出荷量（缶・びん・ペット・紙パック）	トン	1,661	1,689	1,593
指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度																						
リサイクル率	%	31.0	30.8	31.2																						
容器包装プラスチック資源化量	トン	2,593	2,553	2,506																						
資源物出荷量（缶・びん・ペット・紙パック）	トン	1,661	1,689	1,593																						
項目評価		高→低		評価の理由																						
		4	3	2	1																					
有効性		●				ごみとして排出されたものを資源物としてリサイクルすることは、循環型社会の実現に有効な事業であるため「4」としました。																				
効率性			●			資源物に加え、他自治体に先駆けてプラスチック類を一括回収しているが、混入した不適物の除去に手作業を要するため「3」としました。																				
公平性		●				全ての市民から排出されたごみをリサイクルする事業であるため「4」としました。																				
将来性		●				循環型社会の実現には、限りある資源を有効活用することが必要不可欠であるため「4」としました。																				
総合評価		A		ごみとして排出された資源物を選別し、再商品化・資源化する本事業を通じて、今後も、循環型社会の構築を目指していきます。																						
特記事項																										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 02塵芥処理費

事務事業番号 04030202

事業名		資源リサイクル運動推進事業		担当部署	環境衛生部 ゼロごみ推進課		
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例					
令和3年度決算額		167,493	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債		千円				
	その他	144,124	千円				
	一般財源	23,369	千円				
事業費（総計）		188,622	千円		総合評価	A	
決算額		167,493	千円				
人件費		21,129	千円				
事業の目的		「053（ゼロごみ）のまち とまこまい」の実現に向け、三つの基本テーマである「ごみの減量／リサイクルの推進／まちの環境美化」に関わる様々な事業を実施し、市民と事業者と行政が一体となって取り組みます。					
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 家庭ごみ有料化に伴う事業を実施しました。 <ol style="list-style-type: none"> 指定ごみ袋の物品購入業務 流通管理業務委託 手数料等徴収事務委託 流通管理システム賃貸借 ごみの減量とリサイクルの推進に関わる事業を実施しました。 <ol style="list-style-type: none"> 集団回収奨励金 リサイクルハウス設置助成 生ごみ堆肥化容器助成、電動生ごみ処理機助成 紙類、剪定枝、蛍光灯等資源化処理業務 まちの環境美化に関わる事業を実施しました。 <ol style="list-style-type: none"> 環境美化活動助成金 ぼい捨て防止看板の設置 監視カメラの設置 					
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度
		家庭ごみ排出量		トン	34,813	35,661	34,340
		リサイクル率		%	31.0	30.8	31.2
		不法投棄発生件数		件	59	88	78
項目評価		高→低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				ごみとして排出されたものを資源物としてリサイクルすることは、循環型社会の実現に有効な事業であるため「4」としました。	
効率性		●				道内10万人以上の都市の中では、平成26年度以来、リサイクル率トップをキープしているため「4」としました。	
公平性		●				全ての市民が参加できるよう、町内会などの市民団体と協力して、各事業を実施しているため「4」としました。	
将来性		●				「053（ゼロごみ）のまち とまこまい」の実現に向け、市民や事業者との協働により、様々な事業を実施していく必要があるため「4」としました。	
総合評価		A		これまでの取組により、ごみの排出量やリサイクル率は道内の主要都市でも高い水準をキープしています。「053（ゼロごみ）のまち とまこまい」の更なる高みを目指し、「ごみの減量／リサイクルの推進／まちの環境美化」に関わる様々な事業を展開していきます。			
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 02塵芥処理費

事務事業番号 04030203

事業名		清掃統計処理システム事業		担当部署	環境衛生部 ゼロごみ推進課		
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例					
令和3年度決算額		1,271	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債		千円				
	その他		千円				
	一般財源	1,271	千円				
事業費（総計）		1,975	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">総合評価 A</div>			
決算額		1,271	千円				
人件費		704	千円				
事業の目的		ごみ排出量やし尿処理量等のデータは、現状分析や施策の企画立案、予算算定の基礎となります。これらのデータを適正かつ効率的に統計処理するため、清掃統計処理システムの定期的な保守管理を実施します。					
事業の内容 SDGs17の目標		<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #f96; padding: 5px; margin-right: 10px;"> 12 つくる責任 つかう責任 </div> <div> 1 清掃統計処理システム保守を実施しました。 </div> </div>					
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度
項目評価		高→低				評価の理由	
		4	3	2	1		
有効性	●					本市のごみ排出量及びし尿処理量等の状況を把握するために、有効なシステムであるため「4」としました。	
効率性	●					ごみ排出量及びし尿処理量等の膨大なデータを適正かつ効率的に統計処理しているため「4」としました。	
公平性	●					本システムのデータは、適正な予算の算出に利用されているため「4」としました。	
将来性	●					各種事業を適正かつ効率的に実施するためには、システム更新や保守を継続して行う必要があるため「4」としました。	
総合評価	A		本システムは、事業の企画立案や予算算出に必要であり、今後の社会情勢や市民ニーズの変化に応じてシステムの見直し等を行っていきます。				
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 02塵芥処理費

事務事業番号 04030204

事業名		塵芥車両整備事業		担当部署	環境衛生部 ゼロごみ推進課																					
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例																								
令和3年度決算額		4	千円	項目評価																						
財源内訳	国道支出金		千円																							
	地方債		千円																							
	その他		千円																							
	一般財源	4	千円																							
事業費（総計）		708	千円	<table border="1"> <tr> <td>総合評価</td> <td rowspan="3">A</td> </tr> </table>				総合評価	A																	
総合評価	A																									
決算額		4	千円																							
人件費		704	千円																							
事業の目的		市内一斉大掃除の回収や不法投棄の回収など、恒常的に使用する塵芥車が必要のため、計画的に塵芥車両を整備します。																								
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>1 塵芥車両を整備しました。 (1) 塵芥車両自動車損害保険料（令和4年3月分）</p>																								
実施結果（活動指標）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R3年度</th> <th>R2年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>					指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度															
指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度																						
項目評価		高→低				評価の理由																				
		4	3	2	1																					
有効性		●				ボランティア清掃や災害時のごみを市が直接回収するために必要な事業であるため「4」としました。																				
効率性		●				ボランティア清掃の回収については、事前に日時や場所、参加人数の規模等を調整し、1台の塵芥車で効率的に回収しているため「4」としました。																				
公平性		●				まちの環境美化を推進するため、市民や企業市民がボランティア活動で集めたごみを市が直接回収する事業であるため「4」としました。																				
将来性		●				有事の備えとして計画的に塵芥車両を整備する必要があるため「4」としました。																				
総合評価		A				塵芥車両整備事業により、ボランティア清掃や災害等のごみを回収することで、今後もまちの環境美化を維持していきます。																				
特記事項																										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 03清掃施設費

事務事業番号 04030301

事業名		清掃施設ダイオキシン類測定分析業務		担当部署	環境衛生部 施設管理課						
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別措置法									
令和3年度決算額		2,695	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	2,695	千円								
事業費（総計）		3,399	千円	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>				総合評価		A	
総合評価											
A											
決算額		2,695	千円								
人件費		704	千円								
事業の目的		ダイオキシン類対策特別措置法28条第1項に基づき毎年1回以上、ダイオキシン類の濃度を環境省が定める方法により測定分析します。									
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>環境省で定める方法により排ガス、飛灰、焼却灰、工場排水、土壌など25検体のダイオキシン類測定分析を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼却施設 : 9検体 ・埋立処分場 : 16検体 									
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度				
項目評価		高→低		評価の理由							
		4	3	2	1						
有効性		●				測定分析の実施により、基準値以内で施設を運転し、周辺の環境が保たれていることから、「4」としました。					
効率性		●				法令で定める方法に基づき、必要な検体数について測定分析を実施したことから、「4」としました。					
公平性			●			ごみ処理施設周辺の環境保全を確認したことから、「3」としました。					
将来性		●				施設周辺の環境保全及び施設の安定稼働のため、継続して測定分析を実施していく必要があることから、「4」としました。					
総合評価		A		焼却施設や埋立処分場は、ダイオキシン類の測定分析及び国への報告義務が法で定められています。また、ごみ処理施設の安定稼働及び施設周辺の環境保全のためにも本事業を継続していく必要があります。							
特記事項											

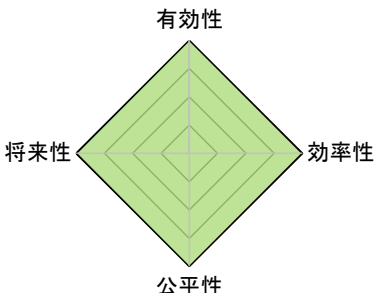


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 03清掃施設費

事務事業番号 04030302

事業名		廃棄物処理施設整備基金積立金		担当部署	環境衛生部 施設管理課								
根拠法令		苫小牧市廃棄物処理施設整備基金条例											
令和3年度決算額		100,033	千円	項目評価									
財源内訳	国道支出金		千円										
	地方債		千円										
	その他	100,033	千円										
	一般財源		千円										
事業費（総計）		100,033	千円					<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>			総合評価		A
総合評価													
A													
決算額		100,033	千円										
人件費		0	千円										
事業の目的		廃棄物処理施設の計画的な整備を行うために積み立てるものです。											
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>   <p>積立金の財源</p> <p>①ごみ広域処理負担金 : 安平町、厚真町の廃棄物を処理した量に対する負担金</p> <p>②有料化財源 : 有料指定ごみ袋の収入</p> <p>③余剰電力売電収入 : 沼ノ端クリーンセンターの余剰電力売電収入</p> <p>④廃棄物処理施設整備基金運用利子 : 積立金運用利子</p> <p>令和2年度末基金残高 369,242,953円</p> <p>令和3年度基金積立金 100,032,914円</p> <p>令和3年度末基金残高 469,275,867円</p>											
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度					
		基金の年度末残高			千円	469,276	369,243	320,850					
項目評価		高→低				評価の理由							
		4	3	2	1								
有効性		●				基金積立により、将来の大規模整備事業費用の一部を積み立てることができたことから、「4」としました。							
効率性		●				計画どおり基金を積立していることから、「4」としました。							
公平性		●				ごみ処理に係る手数料や負担金などの収入の一部を積み立てていることから、「4」としました。							
将来性		●				将来の大規模整備事業に要する費用について、その一部に基金を充当し財政負担を軽減できることから、「4」としました。							
総合評価		A				基金積立により、将来の大規模整備事業において、基金の一部を充当することで財政負担を軽減できることから、次年度以降も計画的な基金積立を継続します。							
特記事項													

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 03清掃施設費

事務事業番号 04030303

事業名		沼ノ端クリーンセンター整備事業		担当部署	環境衛生部 施設管理課				
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、電気事業法、労働安全衛生法、計量法							
令和3年度決算額		168,377	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債	126,200	千円						
	その他		千円						
	一般財源	42,177	千円						
事業費（総計）		170,490	千円	<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>総合評価</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>				総合評価	A
総合評価									
A									
決算額		168,377	千円						
人件費		2,113	千円						
事業の目的		<p>廃棄物処理施設の安定した稼働と適正な処理を維持するために、法に基づく定期検査及び確認を行い、経年劣化部分に必要な整備を実施し、施設周辺の環境保全に努める必要があります。</p>							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <small>産業と技術革新の基盤をつくろう</small> </div> <div style="text-align: center;"> <small>住み続けられるまちづくりを</small> </div> </div> <p>定期整備で摩耗損傷状態の確認を行い、経年劣化部分に必要な整備を行いました。</p> <p>【法定整備】 ボイラ弁類</p> <p>【通常整備】 燃烧設備／燃烧ガス冷却設備／排ガス処理設備／余熱利用設備 受入供給設備／雑設備／電気計装設備</p>							
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度		
項目評価		高→低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				ごみ処理が安定的に継続されていることから、「4」としました。			
効率性		●				定期整備の結果、必要とされた整備を行っており、「4」としました。			
公平性		●				市民が排出したごみを処理する施設の整備であり、市民生活には不可欠なインフラ整備であるため、「4」としました。			
将来性		●				今後も衛生的な市民生活に不可欠なインフラ施設の整備であるため、「4」としました。			
総合評価		A		<p>衛生的な市民生活に欠かせないごみ処理施設の整備であり、安定的な稼働には今後も事業継続することが必要不可欠です。</p>					
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 04し尿処理費

事務事業番号 04030401

事業名		西町し尿処理施設改修事業		担当部署	環境衛生部 ゼロごみ推進課			
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例						
令和3年度決算額		5,442	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	5,442	千円					
事業費（総計）		8,964	千円	総合評価	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">B</div>			
決算額		5,442	千円					
人件費		3,522	千円					
事業の目的		し尿処理施設は、一般廃棄物である汲取便所のし尿や浄化槽の汚泥を処理するための施設です。当施設は、運転開始から37年が経過し各設備の老朽化が進行しておりますが、計画的に整備や補修を実施することで、安定的にし尿及び汚泥の処理を行います。						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>1 施設整備及び補修を実施しました。 (1) し尿投入槽ドラムスクリーン改修工事 (2) 破砕ポンプNO. 2改修工事</p>						
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度
		し尿処理量			kℓ	10,706	11,759	13,135
		汚泥処理量			kℓ	4,239	4,058	3,728
項目評価		高→低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				し尿及び汚泥処理を継続するために必要な事業であり、かつ、市民や事業者にとって必要不可欠な事業であるため、「4」としました。		
効率性			●			本事業により、し尿及び汚泥処理を効率的に処理できることから、「3」としました。		
公平性			●			対象は、下水道認可区域外の市民や事業所となるが、地域の生活環境の改善や環境汚染防止に繋がるため「3」としました。		
将来性		●				し尿及び汚泥処理は、下水道認可区域外の排水処理や仮設トイレの設置に必要な事業であり、将来も継続する必要があるため「4」としました。		
総合評価		B				施設の老朽化による更新時期を検討しなければならないことから、将来的なし尿及び浄化槽汚泥処理の広域化を視野に、関係機関と協議を進めていく必要があります。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04環境衛生費

項 03清掃費

目 04し尿処理費

事務事業番号 04030402

事業名		合併処理浄化槽設置整備事業		担当部署	環境衛生部 ゼロごみ推進課		
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、浄化槽法、水質汚濁防止法					
令和3年度決算額		0	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金		千円	<div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 5px;">総合評価</div> <div style="font-size: 2em; text-align: center; margin-top: 10px;">B</div>			
	地方債		千円				
	その他		千円				
	一般財源		千円				
事業費（総計）		1,409	千円				
決算額		0	千円				
人件費		1,409	千円				
事業の目的		下水道認可区域外の市民を対象に、単独浄化槽や汲取り便所から合併処理浄化槽への切替を促進し、適正に維持管理することで、生活環境の改善や河川等の汚濁を防止します。					
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> 合併処理浄化槽の設置促進に係る周知の実施 <ol style="list-style-type: none"> 浄化槽設置整備事業補助金交付制度を活用し、合併処理浄化槽未実施世帯へ周知を行うとともに、現地聞き取り調査や、市ホームページにおいても周知をしました。 適正な指導の実施 <ol style="list-style-type: none"> 浄化槽法第7条及び第11条に規定されている、定期法定検査の未受検者や検査結果が不適正となった世帯や企業に対し、適正な指導を行いました。 					
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度
		合併処理浄化槽設置補助件数		件	0	0	0
		事業所からの合併処理浄化槽設置申請受理件数		件	9	22	19
		浄化槽維持管理改善通知発送件数		件	40	39	33
項目評価		高→低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				生活環境の改善や環境汚染防止のため、下水道認可区域外の市民や事業者から出る排水を処理する必要があることから、「4」としました。	
効率性			●			浄化槽設置整備事業補助金交付制度の申込みは無かったが、公共下水道と合併処理浄化槽を合わせた汚水処理人口普及率は99.9%に達成していることから、「3」としました。	
公平性			●			対象は、下水道認可区域外の市民や事業所となるが、地域の生活環境の改善や環境汚染防止に繋がるため「3」としました。	
将来性		●				合併浄化槽の設置促進及び適正な維持管理を今後も継続する必要があるため、「4」としました。	
総合評価		B		公共下水道と合併処理浄化槽を合わせた汚水処理人口普及率は99.9%を達成しています。今後も100%を目指し粘り強く制度の周知を図り、合併処理浄化槽の普及拡大に努めていきます。			
特記事項							